

アラブ首長国連邦

United Arab Emirates

	2014年	2015年	2016年
①人口:985万人(2016年)			
②面積:7万1,024km ²			
③1人当たりGDP:3万7,678米ドル (2016年)			
④実質GDP成長率(%)	3.3	3.8	3.0
⑤消費者物価上昇率(%)	3.5	6.5	5.8
⑥失業率(%)	n.a.	n.a.	n.a.
⑦貿易収支(100万米ドル)	108,501	76,621	68,365
⑧経常収支(100万米ドル)	54,496	17,275	11,553
⑨外貨準備高(グロス) (100万米ドル)	78,424	93,674	85,118
⑩対外債務残高	n.a.	n.a.	n.a.
⑪為替レート(1米ドルにつき、 UAEディルハム、期中平均)	3.67	3.67	3.67

[注] ④:全て推計値、⑦:国際収支ベース(財のみ)、⑦⑧:2016年は推計値

[出所] ①③⑨⑩:IMF、②④⑤:UAE連邦競争力・統計局、⑦⑧:UAE中央銀行

2016年のUAEの実質GDP成長率は、民間最終消費支出の回復を主因に3.0%を維持した。2017年は原油の協調減産などにより成長率の低下が見込まれるものの、18年には上向くと予測されている。貿易は、油価下落の影響により2年連続で貿易黒字が減少している。直接投資は、対内投資が日本から含め総額で拡大しているものの、対外投資は減少している。

■ 民間支出の回復などにより GDP 成長率 3.0%を維持

2016年のアラブ首長国連邦(UAE)の実質GDP成長率は3.0%と15年の3.8%から低下したものの、堅調な成長を維持した。需要項目別でみると、54.1%と最大のシェアを占める民間最終消費支出が前年比11.7%増と二桁の伸びで経済をけん引し、外需の減少を補った。部門別で

は、GDPの約7割を占める非石油部門が2.7%増、約3割を占める石油部門が2014年から続く油価低迷にもかかわらず3.8%増と共に増加し、成長に寄与した。なお、経済成長を牽引してきた非石油部門は2%台の成長を維持したものの、2014年以降成長率が鈍化している。

非石油部門の成長率の鈍化は、石油収入の減少による財政悪化を防ぐために政府支出が削減されていることが

要因の一つである。IMFによると、UAEの財政収支は2009年のドバイショック以降初めて2015年にGDP比マイナス2.1%の赤字となり、2016年はマイナス3.9%に赤字幅が拡大した。政府支出は2014年に4,773億ディルハム(GDP比32.3%)から、2015年4,202億ディルハム(同30.9%)、2016年4,122億ディルハム(同30.2%)と削減を続けている。

2016年10月時点でIMFはUAEの2017年の経済成長率を2.5%と予測していたが、OPEC非加盟国を含めた原油の協調減産合意を受けて、2017年4月に1.5%に下方修正した。2017年は石油部門の成長率をマイナス3.7%、非石油部門を3.8%と見込み、これまで減速していた非石油部門の成長率が回復し、石油部門の縮小を補うとしている。そして、2018年は石油減産の終了や2020年ドバイ万博に向けたインフラ投資の拡大などにより、経済成長率は石油部門が6.2%、非石油部門が3.6%となり、全体

表1 アラブ首長国連邦(UAE)の実質GDP

(単位:100万ディルハム、2010年価格、%)

項目	2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率
民間最終消費支出	674,265	753,017	54.1	11.7
政府最終消費支出	163,698	161,696	11.6	△1.2
政府総固定資本形成	133,370	131,755	9.5	△1.2
民間総固定資本形成	156,292	164,542	11.8	5.3
国内総固定資本形成	289,662	296,297	21.3	2.3
財貨・サービスの純輸出	203,836	161,770	11.6	△20.6
財貨・サービスの輸出	1,355,607	1,444,176	103.8	6.5
財貨・サービスの輸入	1,151,771	1,282,406	92.2	11.3
実質GDP	1,350,131	1,391,127	100.0	3.0
石油部門	416,771	432,568	31.1	3.8
非石油部門	933,360	958,560	68.9	2.7
非金融部門				
卸売・小売・修理サービス業	147,014	147,690	10.6	0.5
建設業	124,436	128,225	9.2	3.0
製造業	112,012	118,689	8.5	6.0
運輸・倉庫	85,194	91,477	6.6	7.4
不動産業	78,017	79,464	5.7	1.9
電力・ガス・水・ごみ処理	43,395	45,461	3.3	4.8
情報通信業	37,252	38,923	2.8	4.5
専門・科学技術サービス	36,707	37,661	2.7	2.6
ホテル・フードサービス業	26,437	27,937	2.0	5.7
金融・保険業	91,091	88,623	6.4	△2.7
政府サービス部門	76,855	76,635	5.5	△0.3
実質GDP	1,350,131	1,391,127	100.0	3.0

[注] 全て暫定値のため、変更される可能性がある。主要項目のみ抽出しているため、各項目の合計は100%にならない。

[出所] UAE連邦競争・統計局から作成

表2 アラブ首長国連邦(UAE)の輸出入<通関ベース>

(単位:10億ディルハム、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2015年		2016年			2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
石油輸出	226	187	17.0	△17.3	輸入(国内市場向け)	676	716	72.0	5.9
原油	116	98	8.9	△15.4	フリーゾーン輸入	276	269	27.0	△2.6
非石油輸出	383	398	36.3	4.0	ガス輸入	15	10	1.0	△33.1
再輸出	495	512	46.7	3.4					
合計	1,104	1,097	100.0	△0.6	合計	967	995	100.0	2.9

〔注〕①フリーゾーンへの輸出入を含む。②2016年は暫定値。

〔出所〕UAE中央銀行:国際収支統計(推計)を通関ベースに組み換えて作成

で4.4%に上向くと予測している。

政府支出は2017年以降拡大していくと見込まれているが、2018年の付加価値税(VAT)5%の導入および経済成長により歳入の拡大が見込まれるため、財政赤字も徐々に縮小し、2020年には黒字に転じると予測されている。また、2015年まで3年連続で上昇が加速していた消費者物価指数(CPI)上昇率は、2016年は1.6%となり、前年から2.5ポイント低下し、物価上昇に落ち着きが見えた。これは、3割強のウェイトを持つ住宅・光熱費の上昇率が大幅に低下したことと交通費が下がったことが主因である。

■貿易黒字は2年連続減少

2016年のUAEの貿易額(通関ベース)は輸出が前年比0.6%減の1兆967億ディルハム(フリーゾーン含む、以下同じ)、輸入が2.9%増の9,951億ディルハムとなった。貿易黒字は2年連続で減少し、前年比345億ディルハム縮小し1,016億ディルハムとなった。

輸出額の減少は、2014年後半以降の油価低迷により、輸出額の17.0%を占める石油輸出が17.3%減の1,867億ディルハムとなったことが主因である。一方、非石油輸出は4.0%増、再輸出は3.4%増と堅調な伸びを見せている。輸入には、国内市場向けが5.9%増の7,163億ディルハムとなった一方で、フリーゾーン向けは2,687億ディルハムと2.6%減少した。

UAE連邦競争力・統計局発表の品目別貿易額に含まれているのは、国内市場向けの輸出入額(石油除く)のみで、石油輸出並びにフリーゾーン向けの輸出入額は発表されていない。同統計によれば、輸出総額(地場輸出+再輸出)は3,839億6,700万ディルハムで前年比0.3%増と前年とほぼ同額であった。前年21.9%増と好調であった地場輸出は2016年も4.6%増の成長を維持したが、再輸出は2年連続で減少している。減少の要因は再輸出額のそれぞれ12.9%、10.3%を占める車両(鉄道・軌道用除く)及びその部品と、電気機器及びその部品がそれぞれ前年比12.7%減、14.2%減と減少したことである。車両の再輸出を減少額の大きい順にみると、最大シェア20.1%を占めるイラン向けが前年比22.1%減、隣国サウジアラビア

向け(シェア5.1%)が49.2%減、イラク向け(シェア5.3%)が43.2%減など中東諸国への再輸出額の減少が目立ち、2年連続での減少となった。なお、中国(シェア17.7%)向けは8.5%、日本(同1.4%)向けが25.3倍、韓国(同0.6%)が76.3%増など東アジア向けは増加した。なお、地場輸出の主要産品は堅調な伸びを見せているが、10.9%を占めるアルミニウム及び同製品は、国際市況を反映してキロ当たりの平均輸出単価が8.2ディルハムから6.8ディルハムに低下したため、輸出量は増えたものの輸出額は3.2%減少し183億4,300万ディルハムとなった。

地場輸入は前年比2.7%増加し、6,948億8,500万ディルハムとなった。増加の主因は28.0%のシェアを占める真珠・貴石・貴金属が単価は下がったものの輸入量の増加により、輸入額が17.2%拡大したことと、6.6%を占める航空機・宇宙飛行体及びその部品の輸入額が44.4%増と急拡大したことである。

■対内投資は引き続き増加も、対外投資は減少

国連貿易開発会議(UNCTAD)は、UAEの2016年の対内直接投資額(ネット、フロー)を前年比2.2%増の89億8,600万ドルと発表した。対内直接投資が総固定資本形成に占める割合は、15年と同じ9.1%であった。対内直接投資残高は1,179億4,400万ドルとなり、GDPに対する割合は15年から2.4ポイント上昇し、31.8%となった。外国企業のUAE企業に対するM&A(合併・買収)額(ネット)は8,800万ドルと前年比53.4%減となった。トムソン・ワン集計による案件実績を見ると、2016年は前年から3件減って45件となった。国別では米国が8件で最も多く、英国、インドが各7件、サウジアラビアが6件と続いた。日本からの事例は含まれていなかった。産業別では石油・ガス産業関連が5件で最も多く、病院3件、広告2件、コンピューター2件と続いた。

一方、対外直接投資額(ネット、フロー)は、15年から5.9%減少し157億1,100万ドル、総固定資本形成に占める割合は15.8%となり1.5ポイント低下した。対外直接投資残高は1,132億4,100万ドルで、GDPに対する割合は

4.2ポイント上昇して30.5%となった。こうした中でUAE企業による外国企業のM&A買収額(ネット)は115億7,200万ドルで15年(58億7,000万ドル)の2倍近くに急拡大している。案件実績(トムソン・ワン集計)を見ると、件数は90件から73件に減少した。国別ではエジプトが7件で最も多く、英国、インドが各4件、南アフリカ3件と続いた。産業別では病院5件、ホテル業4件、レストラン、空港サービスが各3件と多く、金額が発表されている案件の中では、2016年2月にUAEのアル・ヌール・ホスピタルグループが株式交換により南アフリカのメディック・クリニック・インターナショナルと合併した案件が最も大きかった。

■日本との貿易額は輸出入ともに減少

財務省の貿易統計(通関ベース)で2016年の日UAE間の貿易をみると、日本からUAEへの輸出は前年比8.2%減の79億8,100万ドル、輸入は同じく前年比26.5%減の172億9,500万ドルとなった。そのため、日本の貿易赤字は前年より55億1,000万ドル縮小し、93億1,400万ドルとなり、2年連続で縮小した。

輸出を品目別にみると、輸出の減少は13.5%を占める原料別製品(17.5%減)、59.0%の輸送用機器(4.5%減)、5.6%の電気機器(19.8%減)の減少が主因である。最大の輸出品目である輸送用機器(シェア59.0%)の減少は、前述の通りUAEの車両(鉄道・軌道用を除く)及びその部品の輸入需要減による。報道によるとUAEの新車販売台数は2015年の41万5,897台から2016年には23.1%減少して31万9,878台となっている。なお、乗用車は0.6%増と僅かではあるが増加している。

輸入を品目別にみると、輸入減少は、96.3%を占める鉱物性燃料が26.9%減となったことが主因である。これは最大品目である原油の平均輸入単価が15年の1バレルあたり56.7ドルから43.2ドルに23.9%下がり、さらに輸入量も前年比3.3%減と僅かではあるが減少したことによる。

■日本からUAEへの直接投資が加速

日本の国際収支統計(ネット、フロー)では、2016年の

表3 アラブ首長国連邦(UAE)の非石油部門の品目別輸出入
〈通関ベース〉

(単位:100万ディルハム、%)

地場輸出				
	2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率
真珠・貴石・半貴石	75,019	77,028	45.7	2.7
アルミニウム及び同製品	18,941	18,343	10.9	△3.2
プラスチック及びその製品	10,973	18,144	10.8	65.4
銅及びその製品	3,835	4,443	2.6	15.8
書籍、新聞などの印刷物並びに手書き文書	2,718	4,135	2.5	52.1
合計(その他含む)	161,218	168,633	100.0	4.6
再輸出				
	2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率
真珠・貴石・半貴石	73,578	78,251	36.3	6.4
車両(鉄道・軌道用を除く)及びその部品	31,872	27,814	12.9	△12.7
原子炉・ボイラー・機械類及びその部品	26,983	27,667	12.8	2.5
電気機器及びその部品	25,935	22,248	10.3	△14.2
航空機・宇宙飛行体及びその部品	5,985	6,659	3.1	11.3
合計(その他含む)	221,419	215,334	100.0	△2.7
地場輸入				
	2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率
真珠・貴石・貴金属	166,046	194,641	28.0	17.2
原子炉・ボイラー・機械類及びその部品	77,029	75,890	10.9	△1.5
電気機器及びその部品	67,204	68,927	9.9	△1.7
車両(鉄道・軌道用を除く)及びその部品	70,140	59,705	8.6	△11.2
航空機・宇宙飛行体及びその部品	31,604	45,635	6.6	44.4
合計(その他含む)	676,375	694,885	100.0	2.7

[注] 石油輸出、国外からのフリーゾーン向け輸出入を含まない。本統計にはFOB、CIFの掲載がない。

[出所] UAE連邦競争・統計局から作成

日本からUAEへの直接投資額は324億円(実行362億円、回収39億円)で前年83億円の約4倍に急増した。また2017年は第1四半期だけで既に763億円(実行826億円、回収61億円)であり、既に2016年の2倍以上に達している。

2016年5月以降の1年間でUAEに現地法人(現法)や駐在員事務所などを設立した企業は、SBIホールディングス(合弁、12月)、西村あさひ法律事務所(駐在員事務所、12月)、GMOグローバルサイン(電子認証サービス)(現法、12月)、京石産業(現法、12月)、カナレ電気(現法、1月)、日立物流(インドグループ会社の支店、3月)、オリンパス(現法、4月)などである。日系製造業企業のほ

表4 アラブ首長国連邦(UAE)企業に対する外資の主なM&A事例(2016年)

(単位:100万ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
投資業	投資家グループ	中国	8月	900	ドバイの広告会社 Media.net Advertising Ltd の買収。
投資業	投資家グループ	米国	2月	275	ドバイのEコマース企業 Souq.com にマイノリティ出資。
投資業	China Oil HBP Science & Technology Co Ltd	中国	7月	107	石油・天然ガス生産者 Anton Oilfield Services DMCC の株式40%を取得。
投資事務所	STC Ventures Fund	フランス*	12月	100	ドバイ発祥のベンチャー企業 Careem の株式10%取得。
流体シリンダ、作動装置製造業	Actuant Corp	米国	3月	60	ドバイの、油田およびガス掘採サポート FourQuest MENAC を買収。
油田およびガス掘採業	Medserv M.E. Ltd	マルタ	2月	46	シャルジャにある、油田およびガス掘採サポート Middle East Tubular Services Ltd の全株式を取得。

[注] *STC Ventures Fund はサウジアラビア出資。運営会社 iris capital がフランスに所在。

[出所] トムソン・ワン・データベースから作成

表5 アラブ首長国連邦(UAE)企業の外国企業への主な M&A 事例(2016年)

(単位:100万ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
一般病院	Al Noor Hospitals Group PLC	南アフリカ	2月	11,082	病院運営の Mediclinic International Ltd と合併。Mediclinic International Plc に改名。
その他の投資事務所	Adeptio AD Investments SPC Ltd	クウェート	10月	2,146	食肉処理施設運営の KSCP (KFCo) の株式のうち 68.642% を取得。
その他の投資業	Abraaj Capital Ltd	インド	1月	194	病院運営の Quality CARE India Ltd の株式 72% を取得。
一般病院	VPS Healthcare	インド	7月	149	Rockland Hospitals Ltd の3つの病院の株式を取得。
トラック運送業(近距離を除く)	Aramex PJSC	ニュージーランド	1月	81	宅配サービス業 Fastway Couriers を買収。
その他の投資業	Al Habtoor Investment LLC	オーストリア	2月	80	ホテル経営の Imperial Hotels Austria GmbH の全株式を取得。

〔出所〕 トムソン・ワン・データベースから作成

表6 日本の対アラブ首長国連邦(UAE)主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2015年		2016年			2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
輸送用機器	4,935	4,711	59.0	△4.5	鉱物性燃料	22,774	16,655	96.3	△26.9
乗用車	3,403	3,422	42.9	0.6	原油及び粗油	17,659	12,937	74.8	△26.7
原料別製品	1,304	1,076	13.5	△17.5	石油製品	1,158	1,299	7.5	12.1
鉄鋼	623	439	5.5	△29.5	揮発油	1,158	1,295	7.5	11.8
一般機械	1,254	1,181	14.8	△5.9	液化天然ガス	2,818	1,689	9.8	△40.1
原動機	389	397	5.0	1.9	液化石油ガス	1,138	731	4.2	△35.8
電気機器	561	450	5.6	△19.8	原料別製品	658	527	3.0	△19.9
重電機器	78	74	0.9	△4.3	非鉄金属	635	500	2.9	△21.2
合計(その他含む)	8,697	7,981	100.0	△8.2	合計(その他含む)	23,520	17,295	100.0	△26.5

〔出所〕 財務省「貿易統計(通関ベース)」から作成

とんどもは UAE に販売促進、物流効率化などを目的に進出し製造機能を持たない中で、竹中製作所とGSIクレオスは金属部品の防錆処理加工を行う合弁会社を設立、17年6月に操業を開始した。

逆に、2016年の UAE から日本への直接投資額(ネット、フロー)は244億円(実行303億円、回収58億円)となり、前年比21.3%減少した。2017年第1四半期は4億円(実行45億円、回収43億円)で実行額が減少するとともに回収額が急速に伸び、ネットでは4億円にとどまっている。